



日本

ブルゴーニュ/Bourgogne ワインが根強い人気を誇る市場

日本におけるブルゴーニュ/Bourgogne ワイン主要のデータ (2018年)
数量、売上高ともに世界第3位の市場

輸出：735.6万本 (2017年比3.2%減)、1億200万ユーロ (2017年比1.5%減)

数量の内訳

- ▶ 白ワイン： 54%
- ▶ 赤/ロゼワイン： 42%
- ▶ クレマン・ド・ブルゴーニュ/Crémant de Bourgogne：4%

2018年に日本に輸出されたフランス AOC ワインのうち、ブルゴーニュ/Bourgogne ワインは数量で16.4%、売上高では23.6%を占めた。

ブルゴーニュ/Bourgogne ワインは、文化、味覚、価値観がブルゴーニュ人のそれと完全に一致する日本で、真の存在感を発揮する。2018年、この市場におけるフランス AOC ワインの輸入量、さらにはワイン全般の輸入量が減少する中（前者は2017年比5.4%減、後者は6%減）、日本はブルゴーニュ/Bourgogne ワインの輸出先国として第3位の地位を維持した。

2019年2月1日に発効した日 EU 経済連携協定により、輸出量が再び増加に転じるだろう。ブルゴーニュ/Bourgogne では、輸出本数が1,000万本を超えた2012年と同レベルまでの回復を期待している。2019年の滑り出しも順調で、とりわけシャブリ/Chablis については数量で7%の増加を示した（2019年1～2月の対前年同期比）。

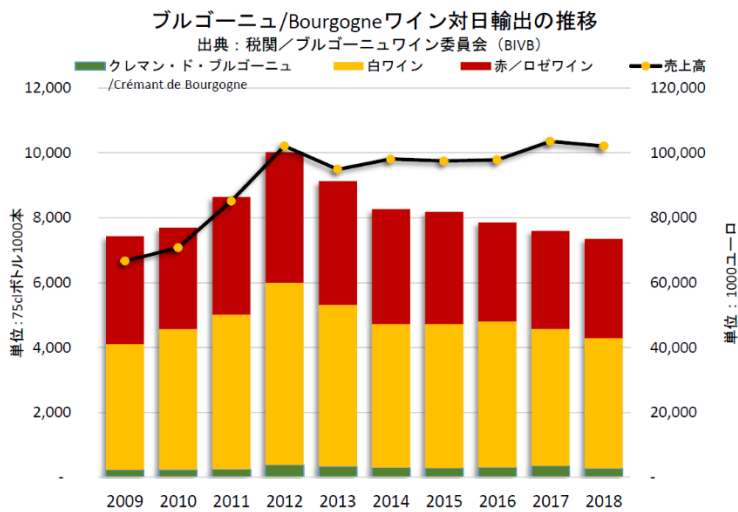
売上高は増加基調

2013年の円安操作（ユーロを含む外貨に対し25%の円安）は日本市場におけるブルゴーニュ/Bourgogne ワインの価格に直ちに影響を与え、同年の売上減を招いたが、その後ブルゴーニュ/Bourgogne ワインの売上高は増加に転じ（2018年には2013年比7.5%増）1億200万ユーロに達した。こうした状況下、赤ワインと白ワインの売上高は順調な伸びを示している（数量ベースで2013年比、赤は7.8%増、白は7.7%増）。

しかし輸出量については2018年に735.6万本、右肩下がりの傾向が続く（2017年比3.2%減）。

シャブリ/Chablis、プチ・シャブリ/Petit Chablis（ここ数年の在庫不足のため）、コート・ド・ボーヌ/Côtes de Beaune およびコート・ド・ヌイ/Côtes de Nuits の各アペラシオン/appellation の輸出量減少は、ブルゴーニュ/Bourgogne 産白ワインの輸出の伸びにとりわけ大きく影響した（2017年比5%減で輸出量全体の54%）。

ここ数年順調だったクレマン・ド・ブルゴーニュ/Crémant de Bourgogne も、2018年には前年比21.8%減の281,410本と、その勢いにブレーキがかかっている。



赤ワインは、地域名アペラシオン/*Appellations Régionales* (12.9%増) とマコン/Mâcon の躍進 (211.6%増) を受け、増加傾向にあるが、コート・ド・ボーヌ/Côtes de Beaune (37.4%減) とコート・ド・ニュイ/Côtes de Nuits (29.6%減) の村名アペラシオン/*Appellations Villages* とそのプルミエ・クリュ/Village Premiers Crus の落ち込みにより伸び悩んでいる。最終的には、2018年の赤ワイン輸出量はわずかながらアップした (1.4%増で輸出量全体の42%)。

2019年の出足はスローペースで、同年1~2月のブルゴーニュ/Bourgogneワインの輸出量は再び減少した (2018年同期比6%減) が、売上高については大きく変化していない (2018年同期比0.1%増)。このような停滞はブルゴーニュ/Bourgogneワインに限ったことではなく、この2ヵ月間の日本のワイン輸入量は11%減、売上高も7%減と落ち込んでいる。

こうした状況の中、地域名アペラシオン/*Appellations Régionales* の白ワイン (ブルゴーニュ/Bourgogneワイン輸出量の約3分の1、日本向けに出荷された全白ワインの40%に相当) は健闘しており、2018年同期比で数量は33.4%増、売上高は45%増を示している。コート・ド・ボーヌ/Côtes de Beauneの村名アペラシオン/*Appellations Villages* とそのプルミエ・クリュ/Village Premiers Crusの白も、数量 (44.7%増)、売上高 (52.9%増) とともにアップした。

ブルゴーニュ/Bourgogneの白ワイン、売上高アップに貢献

成熟した日本市場は様々なアペラシオン/*appellation* のブルゴーニュ/Bourgogneワインを輸入している。

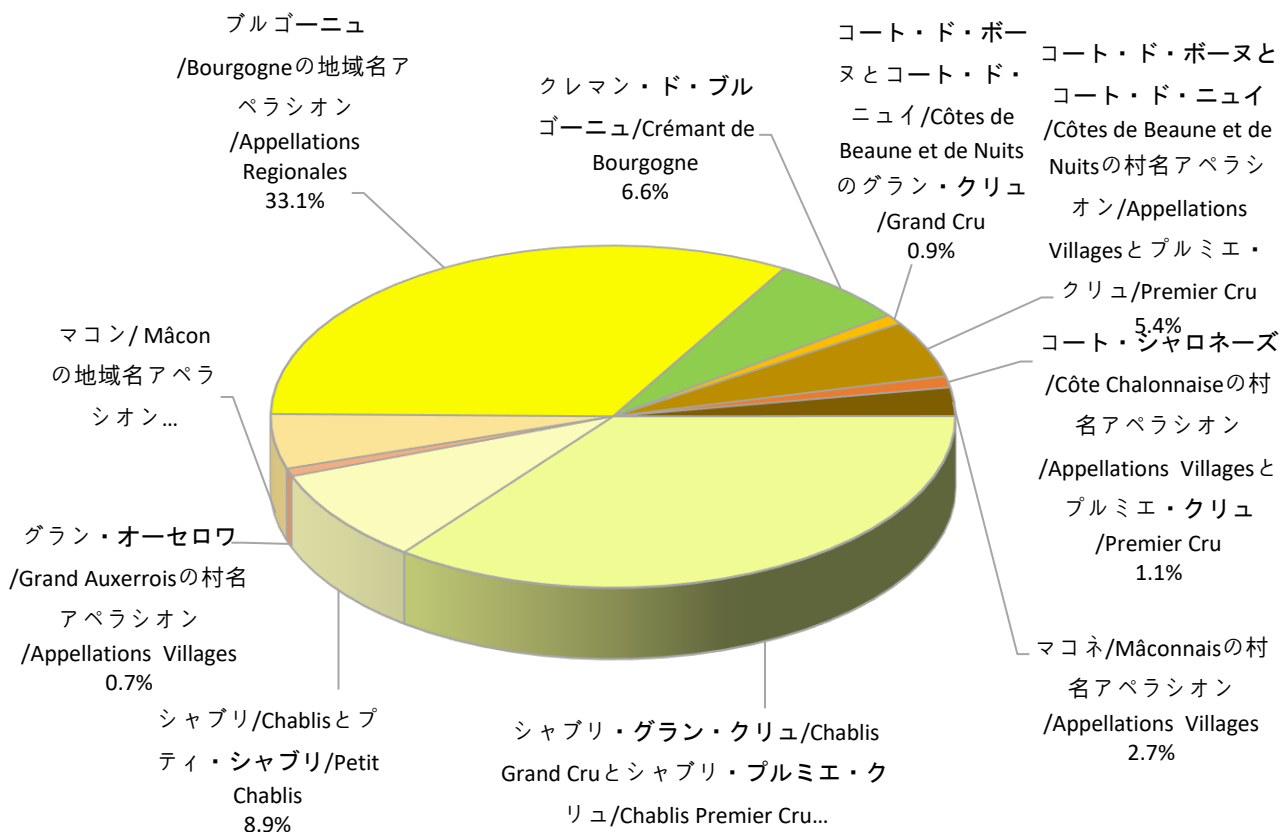
白ワインの輸出は地域名アペラシオン/*Appellations Régionale* とシャブリ/Chablisを中心に

ブルゴーニュ/Bourgogneの白ワインは日本市場において昔から重要な役割を担っており、過去10年間の輸出量に占める割合は54~60%の範囲で推移している。

シャブリ/Chablisはブルゴーニュ/Bourgogne産白ワインの発展に大きく貢献しているが (白ワイン輸出量の47%)、2017年以降在庫不足が続き、2018年にはその輸出量が再び減少に転じた (2017年比7.9%減)。

2018年、ブルゴーニュ/Bourgogne産白ワインの輸出量は減少したが、売上高については前年比で5.3%増加している。この伸びに大きく貢献したのがマコネ/Mâconnaisの村名アペラシオン/*Appellations Villages* (17.6%増) とシャブリ/Chablis (4.6%増)、そしてブルゴーニュ/Bourgogneの地域名アペラシオン/*Appellations Régionales* (23.5%増) である。

日本市場であまり販売されていなかったサン・ブリ/Saint-Brisは2018年にヒットし、数量で58.9%増、売上高では55.9%増と躍進した。



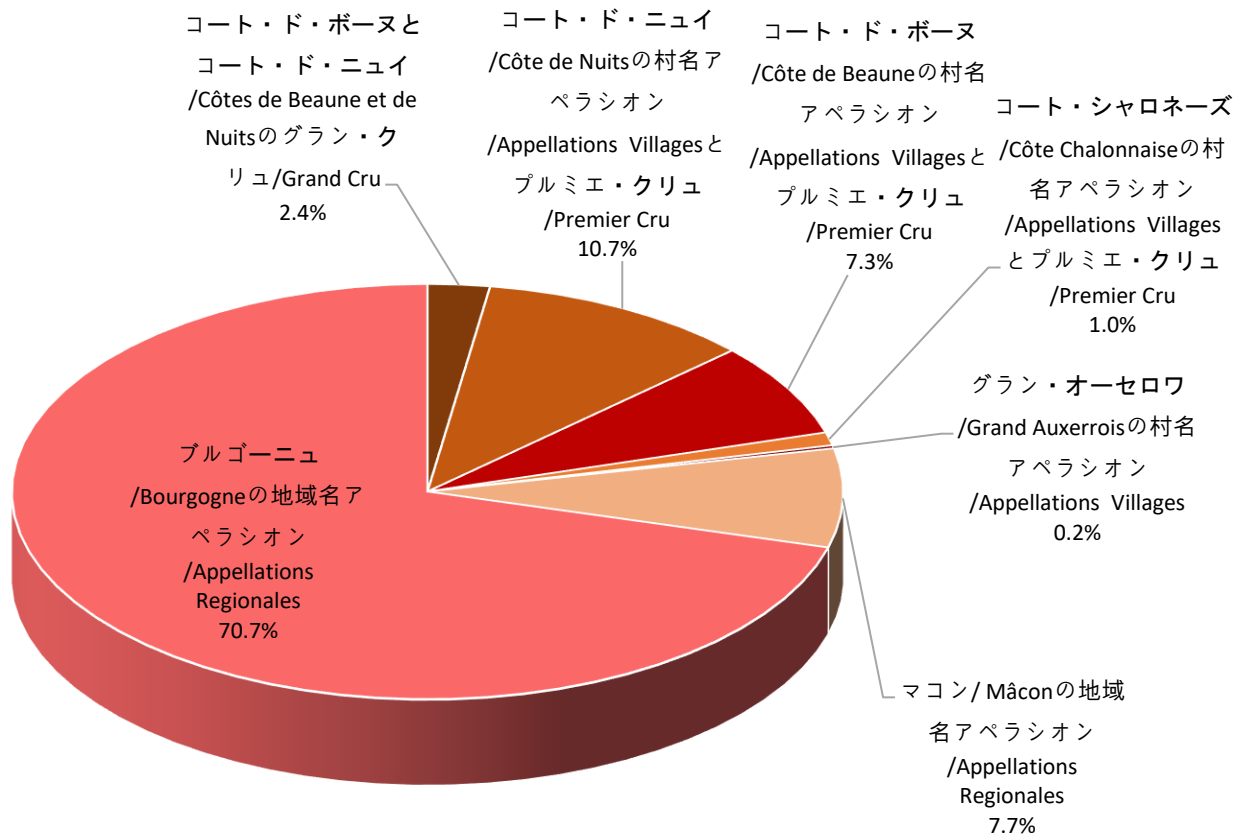
2017年に輸入量がアップした（11%増）クレマン・ド・ブルゴーニュ/Crémant de Bourgogne は、2018年には減少に転じた（21.8%減）。

地域名アペラシオン/Appellations Régionales に支えられる赤ワイン

2018年に輸出量が若干増えた赤ワインは（2017年比1.4%増）、白ワインやクレマン・ド・ブルゴーニュ/Crémant de Bourgogne よりも平均価格が高く、数量では全体の42%ながら売上高で見ると54%を占めている。

ブルゴーニュ/Bourgogne の地域名アペラシオン/Appellations Régionales（数量で12.9%増、売上高で24%増）とマコン/Mâcon（数量で211.6%増、売上高で197%増）が数量、売上高ともに上昇した一方で、その他の比較的高価なアペラシオン/appellation の落ち込みが影響し、ブルゴーニュ/Bourgogne 産赤ワインの売上高は減少することとなった（2017年比5.8%減）。

日本ではまだ知名度の低いイランシー/Irancy は2018年に人気を博し、数量で99.3%増、売上高では159.9%増と大きな伸びを記録した。



ブルゴーニュ/Bourgogne、従来の流通網に注力

▶ ホテル・レストラン、ワインバー

ホテル・レストランおよびワインバーにおいて（2018年に東京都内の店舗176カ所を対象に実施したアンケート調査）、フランス産ワインは取扱いが最も多く（取扱量全体の61%）、調査対象店舗の91%がフランス産ワインを取り扱っている。

これらの店舗で取り扱われている全世界のワインに占めるブルゴーニュ/Bourgogneワインの割合は最も高く（取扱量全体の20%）、調査対象店舗の78%がブルゴーニュ/Bourgogneワインを取り扱っている。

世界全体のワインを取り扱う調査対象店舗のうち、コート・ド・ボーヌ/Côtes de Beauneの村名アペラシオン/Appellations Villagesとそのプルミエ・クリュ/Village Premiers Cruを取り扱う店舗は全体の64%に上る（2017年比で横ばい）。4つのシャブリ/Chablisのアペラシオン/appellationが僅差でこれに続き、62%の店舗で少なくとも1銘柄が取り扱われている。コート・ド・ニュイ/Côtes de Nuitsの全アペラシオン/appellationがこれに続く（59%、2017年比で横ばい）。

しかしこの流通網でも、まだ発見すべきブルゴーニュ/Bourgogneワインの銘柄が眠っている。事実、ブルゴーニュ/Bourgogneの白ワインで取扱いが最も多い5つのアペラシオン/appellationは、良く知られた高級なアペラシオン/appellation（ムルソー・プルミエ・クリュ/Meursault Premier Cru、ピュリニイ・モンラッシェ・プルミエ・クリュ/Puligny-Montrachet Premier Cru、シャサーニュ・モンラッシェ・プルミエ・クリュ/Chassagne-Montrachet Premier Cru、ムルソー/Meursault、シャブリ/Chablis）であり、

赤ワインについても同様である（ジュヴレイ・シャンベルタン/Gevrey-Chambertin、ニュイ・サン・ジョルジュ・プルミエ・クリュ/Nuits-Saint-Georges Premier Cru、ヴォーヌ・ロマネ/Vosne-Romanée、ヴォーヌ・ロマネ・プルミエ・クリュ/Vosne-Romanée Premier Cru、エシェゾー・グラン・クリュ/Echezeaux Grand Cru）。

比較的知名度の低いアペラシオン/appellation の中にも日本市場のニーズにマッチする銘柄はあり、これらのアペラシオン/appellation はワインリストのさらなる充実につながる可能性を秘めているが、今のところ目にする機会は少ない。特にブルゴーニュ/Bourgogne やマコン/Mâcon のデノミナシオンを持つ地域名アペラシオン/Appellations Régionales（マコン・アゼ/Mâcon-Azé、ブルゴーニュ・コート・シャロネーズ/Bourgogne Côte Chalonnaise、ブルゴーニュ・コート・ドーセール/Bourgogne Côtes d'Auxerre など）や、あまり知られていない村名アペラシオン/Appellations Villages やそのプルミエ・クリュ/Village Premier Cru（赤はイランシー/Irancy、フィサン/Fixin、リュリイ/Rully、ショレ・レ・ボヌ/Chorey-lès-Beaune、白はサン・ヴェラン/Saint-Véran、ヴィレ・クレッセ/Viré-Clessé、オーセイ・デュレス/Auxey-Duresses、サン・ブリ/Saint-Bris）などが挙げられる。

▶ ワイン専門店：ブルゴーニュ/Bourgogneワインは増加傾向

ブルゴーニュ/Bourgogne ワインは酒販店が取り扱う全世界のワインの中で約 19%（横ばい）を占め、第 1 位の座を獲得している。調査対象店舗で、1 店舗あたりの取扱い数は平均 148 銘柄で、2017 年比で 6% 増となった（出典：2018 年に東京都内の店舗 34 ヶ所を対象に実施したアンケート調査）。ブルゴーニュ/Bourgogne ワインは、都内の調査対象店舗全体の 94% で取り扱いがある。

ホテル・レストランおよびワインバーのカテゴリーに該当する店舗と同様、ワイン専門店でも、主によく知られた高級ワインがアペラシオン/appellation のトップ 5 にランクインしている。

- 白ワインでは、まずピュリニイ・モンラッシェ・プルミエ・クリュ/Puligny-Montrachet Premier Cru とブルゴーニュ/Bourgogne の地域名アペラシオン/Appellations Régionales、その後にシャブリ/Chablis、シャサーニュ・モンラッシェ・プルミエ・クリュ/Chassagne-Montrachet Premier Cru、ムルソー/Meursault が続く。
- 赤ワインでは、まずジュヴレイ・シャンベルタン/Gevrey-Chambertin とブルゴーニュ/Bourgogne の地域名アペラシオン/Appellations Régionales が並び、次いでニュイ・サン・ジョルジュ・プルミエ・クリュ/Nuits-Saint-Georges Premier Cru、ヴォーヌ・ロマネ/Vosne-Romanée、シャンボール・ミュジニイ・プルミエ・クリュ/Chambolle-Musigny Premier Cru が続く。

こちらの流通網においても、比較的知名度の低いアペラシオン/appellation を投入することで、新たな顧客の開拓が見込まれる。

経済に関するコメントは、ブルゴーニュワイン委員会（BIVB）市場開発部が作成-2019 年 5 月
（出典：税関-BIVB-GTI-MIBD Market 社）

プレス問い合わせ先：

ブルゴーニュワイン委員会（BIVB） 広報担当者 Cécile Mathiaud

Tel. +33 (0)3 80 25 95 76 - Portable + 33 (0)6 08 56 85 56 - cecile.mathiaud@bivb.com

日本国内： Sopexa Japon 担当：吉岡

Tel. 03-5789-0083 – FAX: 03-5789-0087 – pr_jp@sopexa.com

ブルゴーニュワイン委員会（BIVB）SNS：





BIVB のプレスリリースとロイヤルティーフリーの写真は www.vins-bourgogne.fr の
オンラインプレスルームにてご覧いただけます

ブルゴーニュワイン委員会 (BIVB)

ブルゴーニュワイン委員会 (BIVB) は、ブルゴーニュ/Bourgogne のぶどう栽培農家、ネゴシアンおよびワイン醸造業者ら全てをとりまとめる団体です。ブルゴーニュ/Bourgogne ワインおよび生産者、ネゴシアンを代表してその利益を守り、技術・経済・コミュニケーション面でのブルゴーニュ/Bourgogne ワインの方針を定め、係る方針に基づいた行動を実施することが、ブルゴーニュワイン委員会 (BIVB) の使命です。

今日、約 29,400ha にモザイク状に広がるぶどう畑から、世界のワイン生産量 (1 億 8700 万本) のおよそ 0.6%を生産しているブルゴーニュ/Bourgogne。高品質のワインを通じ、テロワール/terroir の概念を最もよく伝えることのできるフランスのぶどう畑がブルゴーニュ/Bourgogne なのです。ミクロクリマ、ぶどう品種、人の手、そして土、これら要素が深く絡まりあい個性あふれるブルゴーニュ/Bourgogne ワインが生み出されています。